

勝本浦で なんしよいん？



ボランティアスタッフを募集します！

勝本浦まちづくり協議会では、各事業で活動していただくボランティアスタッフを募集します。

活動内容は

1. こども見守りボランティア

放課後の時間帯に子供たちの見守りや学習支援を行います。

2. 環境整備ボランティア

勝本地区の海岸清掃や花植え、草切りなど景観を保全する活動を行います。

3. イベント運営ボランティア

勝本まち協が主催・共催するイベントの運営をサポートしていただきます。

勝本浦にお住まいの方はもちろんのこと、勝本浦が好きな方、勝本浦を応援したい方も歓迎です。年齢は問いません。

9月に入ってから募集チラシを各戸に配布します。ご興味のある方は是非ご検討ください。お問い合わせは勝本まち協事務局（090-9576-7285）までお願いします。

勝本浦まちづくり協議会
**ボランティアスタッフ
大募集!!!**

1 こども見守りボランティア
放課後の時間帯に子どもたちの見守りや学習支援を行います。
場所：勝本地区公民館（予定）

2 環境整備ボランティア
勝本地区の海岸清掃や花植え、草切りなど景観を保全する活動を行います。

3 イベント運営ボランティア
勝本まち協が主催・共催するイベントの運営をサポートしていただきます。

✓勝本浦が好きな方
✓勝本浦を応援したい方歓迎！
✓都合のいい時に参加OK！
✓有償ボランティアです！（報酬あり）
✓年齢不問！

～まずはボランティア登録を！～
1. 2のいずれかの方法で登録をお願いします。
① 募集の申込書にご記入の上、勝本まち協へ提出
② インターネットの場合は、右のQRコードか下のURLから登録ページを開き、必要事項を入力して送信
【登録フォームURL】 <http://www.city.katsumoto.nagano.jp/10262859200>

登録が完了しましたら、ボランティア活動等に際する情報を送ります。

※団体加入不要（公益財団法人登録制）
※募集は2021年9月31日までの募集期間中に限り有効となります。
※ご記入いただいた個人情報は、勝本まちづくり協議会で適切に管理します。無断で第三者に提供することはありません。
※ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

勝本浦まちづくり協議会 事務局（担当：坂本）
〒911-5501 長岡市勝本町勝本浦2-11-3 勝本地区公民館内
TEL 090-9576-7285 FAX 090-40-0877
Email katsumoto02020@gmail.com

！ SNS しよいよ！

SNSで勝本浦の情報を発信しています。#壺岐や#勝本浦などで投稿していますので、よかったらチェックしてみてください。



Instagram/ インスタグラム
[instagram.com/katsumotoura_town_planning/](https://www.instagram.com/katsumotoura_town_planning/)



LINE 公式アカウント
<https://lin.ee/wUVrvuw>



Facebook/ フェイスブック
[facebook.com/katsumotouratownplanning](https://www.facebook.com/katsumotouratownplanning)



Twitter/ ツイッター
twitter.com/gyYZRB5CfDokUZ2



昨年、東京から勝本浦へ移住された、まちこさんのコラムを期間限定で連載します。

私は夏からこの町で仕事を始め、選挙で投票をしてきた。

よし、これで

いよいよこの町の一員になったぞ！

と、自己満足。

コロナ禍で東京からの移住というのはかなり大変で、色々葛藤もありました。

今じゃなくて、コロナが終息してからにしたら

どうか、嫌がられるぞ。という意見もあり

私もそのことが気がかりで直前まで

かなり迷いました。

そして、やっとの思いでなんとかこの町に

たどり着いてから早8ヶ月。思ったこと。

この町の人は、

移住者を受け入れる力が半端ない！

困った事はないか、と沢山の人が気にかけて

くれます。そして、手助けしてくれます。

農作物や海産物、手作り料理など

色々なものをプレゼント(?!?)してくれます。

黒瀬商店街の入口にある

お気に入りのカラフルな旗がゆらめく中を

ゆっくりと自転車を通り抜け

お返しをどうしようか悩みつっ

今日もこの町の人たちに

心から感謝しています。

この本読んじみらんで？ 4

『漁村の社会人類学的研究—壱岐勝本浦の変容—』

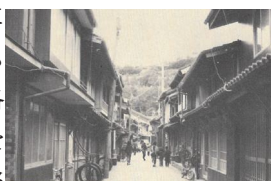
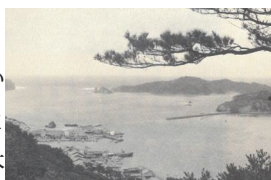
吉田 禎吾 編著

『漁村の社会人類学的研究』

は、1964年（昭和39年）から10年間、吉田氏をはじめとする研究グループが実際に勝本浦に入り、フィールドワークにより調査した内容をまとめたものです。経済・社会・宗教の各側面、及びそれらの相互関係を詳細に記述することで、調査当時までの約50年間に起こった勝本浦の社会的文化的変化を明らかにしています。勝本浦が時代とともに変化してきたことがよくわかる1冊です。

（写真は本書より抜粋）

※紹介した本は市内図書館のいずれかで配架されています。読んでみたい方は勝本地区公民館までお問い合わせください。



前回、西日本全域の人々と交易していたことに着目しましたが、実体験も交えつつ、“勝本浦の言葉とは？”を考えてみたいと思います。

当然のことながら、北部九州の方言がベースになっていることは間違いありません。細かい語彙やイントネーションの違いはありますが、「よか（良い）」や「なおす（しまう）」、「～けん（～だから）」など日常的に使う言葉は共通しています。

勝本浦の言葉を考えてみた

3. ベースは九州弁です。

北部九州出身の人を相手に勝本弁を話すときは、ほぼ支障なく会話ができていましたが、一歩外に出ると、途端に通じなくなります。学生時代、関東出身の友人が勝本に遊びに来たとき、祖父の話に笑顔で対応していましたが、実は何を言っているのか全くわからなかったそうです。岐阜出身の先輩は、電話で家族と話しているのを聞いて「今のは朝鮮語？」と言っていました。“同じ日本語なのに、こうも違うものか”と思ったものでした。

発行 勝本浦まちづくり協議会 事務局

〒811-5501 壱岐市勝本町勝本浦 211-3 勝本地区公民館内

TEL: 090-9576-7285 email: katsumoto020301@gmail.com

担当: 坂本 栄子